

～天津むかしばなし その2～
天津田んぼと舟着場にあった常夜灯



はつかさん

第 29 号
発行
天津地域振興協議会
総務企画部編集委員会
印刷
米子ワークホーム

母塚山と要害山の間広がる天津田んぼは、その昔は海であり平安時代から盛んになった砂鉄採取の土砂が、上流から流され湖沼ができて平野から農地へと開発されました。文献には、二百年程前に天津田んぼの中を、積荷を満載した川舟が航行した記録があります。

谷川の前谷家の蔵の土台石を米子市戸上から舟で運び、旧西伯町馬場からは竹を舟で運んだと記されています。「舟繋ぎの森」とよばれ、舟着場には舟着燈籠があり灯台の役割をしていました。場所は旧天津小学校跡地で、当時の法勝寺川は舟が航行する水位があり水路があって川舟が航行していました。御崎、山崎の地名からも、その頃の天津田んぼの様子が想像できます。

舟着場にあった舟着燈籠は福田正八幡宮の常夜灯でもあり、福成三地区の繁栄と航路の安全を願った氏子たちが、毎晩明りを絶やさないように灯し続けていました。今、舟着場にあった常夜灯は、福田庄八幡宮の前に在って、変わり行く天津田んぼを眺めています。

(記 野口 隆資)



福田正八幡宮の常夜灯から見た天津田んぼ



以前は旧天津小学校（現在の TMS 資材置き場）の敷地内に常夜灯がありました。



あまつのお店紹介

田子電化サービス

〈営業案内〉

TEL&FAX (0859) 66-3746

携 帯 090-2005-1499

Email : katumi1015@sea.chukai.ne.jp

今回は、境にあります「田子電化サービス」さんを紹介します。

お店のご主人である田子勝美さんは、昭和五十五年五月にサラリーマンから独立し、田子電化サービスを立ちあげられました。初めは不安がいっぱいだったようですが、地域の人に貢献できるようにとの思いで一生懸命仕事を続けてこられました。

田子さんは、中海テレビの契約や工事、家電品、冷暖房・住宅設備機器の設計や施工など電気に関する事など「まごころと技術で奉仕する」をモットーに幅広く事業をされています。

本業の電化サービスの仕事以外にも天津地域振興協議会の役員など地域に関わる仕事もたくさんしておられます。南部町商工会の理事は、西伯町時代から三十年以上も続けておられ、また、法勝寺歌舞伎保存会のメンバーとしても活躍されています。

田子さんは、「十一月二十二日(日)に定期公演を予定しています。子ども歌舞伎は『稲瀬川勢揃いの場』、大人歌舞伎は『番町皿屋敷』を演じるので、みなさんぜひ見に来てください。」と言っておられました。

(問い合わせは、役場企画政策課)
(記 亀尾 秀樹)



坂根の子ども会

今回は、坂根の子ども会を紹介いたします。

坂根の子ども会は、現在八名の子どもたちで活動しています。以前から比べると人数が少なくなってきましたが、全員が元気いっぱい坂根の活性化へ一役かっています。

坂根区は、毎年八月十五日に地区内と帰省される出身者の交流の場として納涼大会を開催していま



納涼大会でダンスを披露



火の用心～！

今年も子どもたちは、元気いっぱいダンスを披露してくれました。

また、子どもたちは、夏休みの間を利用して自転車の乗り方を駐在さんから学んだり、昔ながらに拍子木を打ち鳴らし「火の用心」と連呼しながら地区内を巡回し、火災防止の呼び掛けを行っています。

坂根は三十数戸の小さい集落ですが、いつまでも子どもたちの元気な声が聞こえてくる集落であって欲しいと願っています。坂根は地区内をあいさつ通りと自称しています。子どもたちに気軽に声をかけてください。きっと元気な返事が返ってくると思います。

(記 桑名 俊成)

あの人この人
佐伯 豊重さん(谷川)

今日は、グラウンドゴルフ練習前の佐伯豊重さんに、お話しを伺いました。

お元気ですね。健康の秘訣を教えてください。

「大正十五年（昭和元年）生まれの八十九歳です。健康の秘訣は、まず身体を動かすこと。去年からグラウンドゴルフを始めて、ほとんどの大会に出ています。あと、あまり肉は食べません。魚や野菜が好きです。花造りもしています。最近では、盆前ですので盆花の収穫で忙しくしています。」

若いころは、大工さんをしてお



天津グラウンドゴルフ大会に出場（左から2番目）

られたそうですね。

「昭和十六年、十六歳の時に満蒙開拓義勇軍で満州へ渡って、そこで大工の修行をしました。こちらへ来てから、棟梁として大工をし、大体八十軒ぐらいい建てました。御来屋や日野の奥の方に建てたこともあります。長生きしていろいろなことがありますが、若いころ満州でエライ目をしたので、これからの余生は自分の好きなことをして過ごしたいと思いません。」

ありがとうございました。

(記 田中早栄)

じばしちゅー

花房 涉さん(四季)



左：店長 真ん中：本人 右：ドラム講師

子どもが中学を卒業すると地域との関わりが希薄になりがちです。そこで、あまつ住民の「最近どげしちゅーか紹介していい」という企画をしました。

イオンモール日吉津店の中にある島村楽器店で「何かお探しますか？」と気さくに声をかけてきたのが花房君（二十七歳）。楽器店に勤務というから何か弾けるのかと思いきや「全くできません」とキッパリ。よく就職できたなあと思いつつ「なぜここに就職したの？」と聞くと「接客業だったから」ともともと「人と関わるのが好き」といって、大学では心理学を専攻したとか。学術的な職に就くよりも、直接人と関われる接客業

が良かったと話してくれました。これまで楽器に触れたことが全くなかったのですが、最近ギターを始めたそうです。純粹に自己を磨き、何事にも積極的に挑戦して行こうとする彼の姿は、これからの南部町を背負って立つひとりとして頼もしいかぎりです。

皆様、イオンモール日吉津店であまつっ子が奮闘しています。彼の姿を見かけたら是非声をかけ、応援して下さい。

(記 本田 節子)

特集：母塚山から望む大山の四季 ～秋のダイヤモンド大山～



撮影場所：母塚山展望台

撮影提供：柄木孝志 (からきたかし)

朝の冷え込みが徐々にきつくなり、澄んだ空気に包まれ始める秋。夜明けには人を感動させる様々なドラマが用意されています。赤からオレンジへと変化する空、朝焼けのうろこ雲、頂付近に日が昇る「サンライズ・ダイヤモンド」、そして麓をうっすらと覆う幽玄な朝もや。わずか三十分の朝のシーンのなかにはいくつものクライマックスが潜んでいるのです。刻一刻と変化する秋の夜明け。ぜひみなさんも「感動」の時間に包まれてみませんか。

(柄木孝志「カラッキの大山・山陰絵日記」より)

富士山の山頂部と太陽が重なる瞬間にダイヤモンドが輝くような光景が見られることがあり、この現象はダイヤモンド富士とよばれています。ダイヤモンド富士にあやかって名付けられたダイヤモンド大山も素晴らしい。

母塚山から見て大山の山頂は、真東の方向になります。九月二十三日にちょうど日の出が重なるようです。母塚山からダイヤモンド大山を眺められるのは一年のうち二回だけ、真東から日が昇る春と秋の彼岸頃ということになります。

一方、山頂と満月が重なる現

象、パール大山が十月には見られます。こちらも神秘的な風景が望めそうです。いずれにしてもお天気次第、何年も通ってようやく出会えた、という方もいらっしゃるかもしれません。今年のお天気はどうでしょうか。

(記 秦 博志)

編集後記

天津地域振興協議会の広報「はつかさん」は、総務企画部の部員が編集委員として年四回発行します。

二十七年度は、「天津むかしばなし」、「あまつのお店紹介」、「すくすく育てあまつっ子」、「あの人・この人」、「どげしちよー」、「母塚山から望む大山の四季」と、毎回シリーズで取り組み、天津の話題になる情報を多くの皆さんに知っていただければと、編集委員会では皆さんが意見を出し合い、相談して取材をしています。

今回もいい話題が取材できました。地区の集まりや家族の集まりなどで、話の種にしていただければありがたいなと思います。

天津の皆さんに楽しんでいただける広報誌として、これからも頑張ってまいりますのでよろしくお願ひします。

(記 野口 隆資)